

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-254208

(43) 公開日 平成6年(1994)9月13日

(51) IntCl.³

A 6 3 F 5/04

識別記号

5 0 1 C 8403-2C

Z 8403-2C

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平5-76383

(22) 出願日 平成5年(1993)3月10日

(71) 出願人 391036389

株式会社イーグル

東京都杉並区久我山2丁目1番32号

(72) 発明者 井上治雄

東京都杉並区久我山2丁目1番32号株式会
社イーグル内

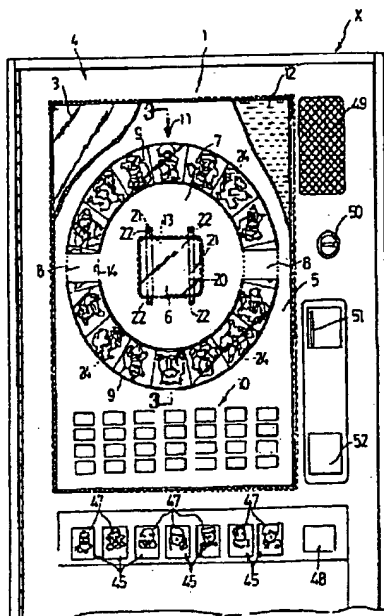
(74) 代理人 弁理士 三浦 光康

(54) 発明の名称 ルーレット遊技機

(57) 【要約】

【目的】 当たり役の発生に対する期待感を色々な角度から抱かせ、遊技者の興奮度を一層盛上げることができること。

【構成】 開閉扉の裏側あるいは箱体内に固定に取り付けられる支持部材と、この支持部材に取り付けられた駆動モータと、この駆動モータの出力軸に取り付けられ、かつ、開閉扉の遊技盤に形成された環状第2開口部に位置あるいは対面する環状板を有する回転体と、この回転体の前記環状板の表面に設けられた当たり区画の当たり指標を有し、かつ、開閉扉の透明板の一側面に貼着される印刷シートと、前記遊技盤の第1開口部に嵌め込まれた液晶表示器とを備えるルーレット遊技機。



(2)

特開平6-254208

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 開閉扉の裏側あるいは箱体内に固定的に取り付けられる支持部材と、この支持部材に取り付けられた駆動モータと、この駆動モータの出力軸に取り付けられ、かつ、開閉扉の遊技盤に形成された環状第2開口部に位置あるいは対面する環状板を有する回転体と、この回転体の前記環状板の表面に設けられた当たり区画の当たり指標を有し、かつ、開閉扉の透明板の一侧面に貼着される印刷シートと、前記遊技盤の第1開口部に嵌め込まれた液晶表示器とを備えるルーレット遊技機。

【請求項2】 請求項1に於いて、回転体は、環状板と、この環状板の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体とから成ることを特徴とするルーレット遊技機。

【請求項3】 開閉扉の裏側あるいは箱体内に固定的に取り付けられる支持部材と、この支持部材に取り付けられた駆動モータと、この駆動モータの出力軸に取り付けられ、かつ、開閉扉の遊技盤に形成された環状第2開口部に位置あるいは対面する環状板を有する回転体と、この回転体の前記環状板の表面に設けられた当たり区画の当たり指標が設けられ、かつ、開閉扉に固定的に装着された透明板と、前記遊技盤の第1開口部に嵌め込まれた液晶表示器とを備えるルーレット遊技機。

【請求項4】 請求項3に於いて、回転体は、環状板と、この環状板の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体とから成ることを特徴とするルーレット遊技機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、各種の健康ランド、ゲームセンター等に設置されるルーレット遊技機に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ルーレット遊技機は、適宜形状に形成された箱体の前面開口部に遊技機本体が開閉可能に格納され、前記遊技機本体は、少なくともアクリル板、ガラス板等の透明板を有する開閉扉と、前記透明板に貼着され、かつ、文字、図柄等でルーレットゲームの内容が設けられた印刷シート、この印刷シートの裏側に取付けられ、かつ、該印刷シートに施された各仕切りあるいは区画に対応するように円周方向に複数の光通過孔を有する遊技盤と、前記各光通過孔にそれぞれ臨むように遊技盤の裏側に配設された複数の点燈ランプと、これらの点燈ランプとそれぞれ電気的に接続し、かつ、各点燈ランプの点滅を遊技者の視覚に対してあたかも光が回転走行しているかのように順次点滅させる中央処理装置とを備えていた。

【0003】 しかして、従来のルーレット遊技機は、

「印刷シートに施された各仕切りあるいは区画に対応するように円周方向に複数の光通過孔を有する遊技盤と、前記各光通過孔にそれぞれ臨むように遊技盤の裏側に配設された複数の点燈ランプ」とを構成要件としているので、実際のルーレットゲームの如く当たり区画盤を回転させる、あるいは現実何らかの回転盤を回転させるという要素はなく、各点燈ランプの点滅を遊技者の視覚に対してあたかも光が回転走行しているかのように順次点滅させるにすぎないので、視覚上今一歩もの足りなさがあつた。また複数の点燈ランプを遊技盤の各光通過孔にそれぞれ臨むように配設しなければならぬので、製作が容易でなく同時に、コスト高になると言う欠点があつた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、遊技者の視覚に対し、より一歩現実のルーレットゲームのイメージに接近させることができ、また製作が容易でかつ安価であるルーレット遊技機を得ることである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明のルーレット遊技機は、開閉扉の裏側あるいは箱体内に固定的に取り付けられる支持部材と、この支持部材に取り付けられた駆動モータと、この駆動モータの出力軸に取り付けられ、かつ、開閉扉の遊技盤に形成された環状第2開口部に位置あるいは対面する環状板を有する回転体と、この回転体の前記環状板の表面に設けられた当たり区画の当たり指標を有し、かつ、開閉扉の透明板の一侧面に貼着される印刷シートと、前記遊技盤の第1開口部に嵌め込まれた液晶表示器とを備えることを特徴とする。

【0006】 上記の構成に於いて、回転体は、環状板と、この環状板の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体とから成ることを特徴とする。

【0007】 また上記の構成要件を主要部とし、回転体の前記環状板の表面に設けられた当たり区画の基準となる当たり指標は、印刷シートではなく、開閉扉に固定的に装着された透明板の適宜箇所設けられている。

【0008】

【作用】 まず遊技盤の第1開口部に液晶表示器を取り付ける。次に支持部材の取り付け枠内に駆動モータを装着する。次に駆動モータの出力軸に回転体を取り付ける。一方、支持部材の取り付けバーにプリント基板を装着する。そして、液晶表示器、駆動モータ等をはプリント基板の中央処理装置に接続する。

【0009】 このように支持部材に駆動モータと回転体とをそれぞれ取り付けた後に、支持部材を遊技盤あるいは開閉扉の裏側に固定する。そうすると回転体の環状板は遊技盤の第2開口部並びに印刷シートの第2窓部に對

50

(3)

特開平6-254208

3

【0010】ルーレット遊技機に電源を入ると液晶表示器の表示部にルーレットゲームとは異なるゲームが現れる。そこで、遊技者がメダルを遊技機本体のメダル投入口に投入し、特定図柄を選択して賭け(ベット)ボタンを押した後、スタートボタンを押すと、駆動モータの駆動力により回転体が回転する。

【0011】回転体が停止した時ルーレットゲームが当たりならば直ちに液晶表示器にルーレットゲームとは異なるゲームが展開される。

【0012】

【実施例】以下、図面に示す実施例により、本発明を詳細に説明する。

【0013】図1は、ルーレット遊技機Xの主要部の外観を正面から示している。1は適宜形状に形成された箱体2の前面開口部に開閉可能に枢着された遊技機本体である。

【0014】しかし、遊技機本体1についてさらに詳しく説明すると、3はアクリル板、ガラス板等の透明板で、この透明板3は矩形状に形成され、箱体2の前面開口部に枢着された開閉扉4の開口部に固定的に取り付けられる。

【0015】5はこの透明板3の裏面に貼着されかつ後述する遊技盤に形成された各開口部に対応して複数個の透明あるいは切欠状の窓部を有する印刷シートである。

【0016】ここで印刷シート5の窓部について説明する。6は中心部の矩形状第1窓部で、この第1窓部6の外側には中央部の非窓部7と接続する2個の接続部8、8を除いて環状第2窓部9が形成されている。環状第2窓部9は視覚上全体的なイメージとして「環状」であるという意味で、実際には前記接続部8、8との関係で図1で示すように2個の環状部が上下に対称的に形成されている。接続部8、8は、本実施例では左右に2個設けられているが、少なくとも1個あれば良い。

【0017】そこで、環状第2窓部9はルーレットゲームを彷彿させることができるのであればその形状は特に問わない。従って、楕円形、多角形等窓部が無窓状に形成されているのであれば「環状」の意味に相当する。

【0018】10は印刷シート5の下部に複数個併設形成されたメダル数表示用の第3窓部である。

【0019】11は印刷シート5の環状窓部9の外側周縁部の適宜箇所に設けられた矢印、点、線などの当たり指標である。

【0020】ところで、本実施例では、当たり指標11は印刷シート5の適当な箇所に設けられているが、必ずしも印刷シートに設ける必要がなく、例えば印刷シート5を透明板3の裏側に貼着した際、当たり指標11が環状窓部9の外側周縁部に位置するように透明板3の一面に設けても良い。

【0021】12は中央部に上記矩形状第1窓部6に対応する第1開口部13を有し、かつ、該第1開口部13

4

を取り囲んで外側に上記環状第2窓部9に対応する第2開口部14を有する遊技盤である。しかし、この遊技盤12の第2開口部14の「環状」の意味合いも上述した印刷シート5の場合と同一である。従って、第1開口部13が形成された中央部16はその余の部分17と左右の連結部18、18を介して一体的に連結している。また遊技盤12の下部にも前記第3窓部10に対応するメダル数表示用の第3開口部15が複数個併設形成されている。なお、遊技盤12は木材、合成樹脂材等適当な材質で透明板3の大きさと略同一に形成されている。

【0022】20は遊技盤12の第1開口部13に端面ハット形状の複数本の取付け片21並びに複数個の固着具22を介して固定的に底め込まれたカラーの液晶表示器である。この液晶表示器20の前面は第1開口部13に嵌め込まれると、印刷シート5の第1窓部6に位置する。

【0023】23は遊技盤12の環状第2開口部14並びに印刷シート5の環状第2窓部9に対面し、かつ、表面に文字、記号、図形などの当たり仕切りあるいは当たり区画24が複数個設けられた環状板25を有する回転体である。

【0024】この回転体23は、軽量化を図るため、図6で示すように上記環状板25と、この環状板25の裏面に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体26とから成る。しかし、前記傘状骨組み体26は、中心孔27を有する円盤状の中心盤部28と、この中心盤部28から放射状に延設された複数本の縦長状アーム部29と、これらのアーム部29の各先端部を結ぶ環状板用の2個の取り付けリング部30と、これらの取り付けリング部30と中心部28との間に設けられた補助用リング部31から成る。

【0025】そして、本実施例では、回転体の揺れ防止を図るため、さらに傘状骨組み体26の各アーム部29の内側には複数個の空気流通孔32を有する多角形の揺れ止め防止片33がそれぞれ固定的にも設けられている。

【0026】次に35はコ字形状の支持部材で、この支持部材35は対向する両端部に取付け片36を有し、これらの取付け片36を介し遊技盤12又は開閉扉4の裏側に適宜に取り付けられる。なお、この支持部材35は場合によっては箱体2内に適宜に取り付けても良い。

【0027】しかし、支持部材35の中央部37の内壁面には駆動モータ38用の取り付け枠部39が設けられ、該取り付け枠部39内に駆動モータ38が固定的に内装される。一方、支持部材35の中央部37の外壁面には図示しないプリント基板用の取り付けバー40が所要間隔を有して設けられていると共に、前記中央部37には複数個の点滅ランプ装着用の孔41が形成されてい

(4)

特開平6-254208

5

6

る。

【0028】なお、前記駆動モータ38の出力軸は図5で示すように前記取り付け枠部39から突出し、この突出した出力軸に上述した回転体23が取り付けられる。

【0029】次に45は箱体2あるいは開閉扉4の適宜箇所に設けられた複数の賭けボタンで、これらの賭けボタン45には回転体の環状板25の表面に描かれた各図柄46に対応するベット用図柄47が描かれている。

【0030】48は賭けボタン45の近くに設けられたスタートボタンである。開閉扉4にはその他スピーカ49、施錠装置50、メダル投入口51、メダル取り出し口52等が設けられている。

【0031】上記構成に於いては、まず遊技盤12の第1開口部13に液晶表示器20を取り付ける。次に支持部材35の取り付け枠部39内に駆動モータ38を装着する。次に駆動モータ38の出力軸に回転体23を取り付ける。この場合回転体23は中心盤部28の中心孔27を介して駆動モータ38に取り付けられる。一方、支持部材35の取り付け部40にプリント基板を装着する。そして、液晶表示器20、駆動モータ38等はプリント基板の中央処理装置に電気的に接続される。

【0032】このように支持部材35に駆動モータ38と回転体23とをそれぞれ取り付け付けた後に、支持部材35を遊技盤12あるいは開閉扉4の裏側に固定する。そうすると回転体23の環状板25は遊技盤12の第2開口部14並びに印刷シート5の第2窓部9に対面する。

【0033】しかして、ルーレット遊技機Xに電源を入れると液晶表示器20の表示部にルーレットゲームとは異なるゲームが現れる。本実施例では複数の窓部と疑似のリールが現れる。

【0034】そこで、遊技者がコインまたはメダルを遊技機本体1のメダル投入口51に投入し、特定図柄を選択して賭け(ベット)ボタン45を押した後、スタートボタン48を押すと、駆動モータ38の駆動力により回転体23が回転する。回転体23の回転スピードは中央処理装置により制御され、次第にゆっくりと回転しながら最後に停止する。

【0035】回転体23が停止した時今仮に当たり指標11の所に環状板25の賭けた絵柄が来たとなると、直ちに液晶表示器20の各窓部内の各リールがそれぞれ独自に変動する。そして、各リールが疑似的に変動した後に該スロットマシンゲームに当たりが発生すると、ルーレットゲームの当たりにスロットマシンゲームの当たりがプラスされる。その時のメダルの合計数が遊技機本体1の第3窓部10に図示しない点燈ランプにより表示される。

【0036】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように本発明にあっては、次に列挙するような効果がある。

(1) 回転体の当たり区画を有する環状板が遊技盤の環

状第2開口部に位置あるいは対面しているため、遊技者の視覚に対し、より一歩現実のルーレットゲームのイメージを訴えることができる。

(2) 従来のように複数の点燈ランプを遊技盤の各光透過孔にそれぞれ臨むように配設する必要がないので、製作が容易であると同時に、安価制作することができる。

(3) 遊技盤の第1開口部に液晶表示器を設けたので、該液晶表示器に遊技機本体のルーレットゲームに他の異なるゲームを加味して展開させることができる。したがって、遊技者に対して、当たり役の発生に対する期待感を色々な角度から抱かせ、遊技者の興奮度を一層盛上げることができる。

(4) 回転体が、環状板と、この環状板の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体とから成る実施例の場合は、回転体の軽量化を図ることができると共に、空気抵抗を少なくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を正面から示す一部切欠の説明図。

【図2】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を背面から示す説明図。

【図3】図1の3-3線断面図。

【図4】本発明遊技盤の概略説明図。

【図5】本発明の要部の斜視図。

【図6】本発明の回転体の説明図。

【符号の説明】

X…ルーレット遊技機。

1…遊技機本体。

2…箱体。

3…透明板。

5…印刷シート。

6…第1窓部。

8…接続部。

9…第2窓部。

10…第3窓部。

11…当たり指標。

12…遊技盤。

13…第1開口部。

14…第2開口部。

15…第3開口部。

16…中央部。

18…連結部。

20…液晶表示器。

23…回転体。

25…環状板。

26…骨組み体。

28…中心盤部。

33…揺れ止め防止片。

(5)

特開平6-254208

7

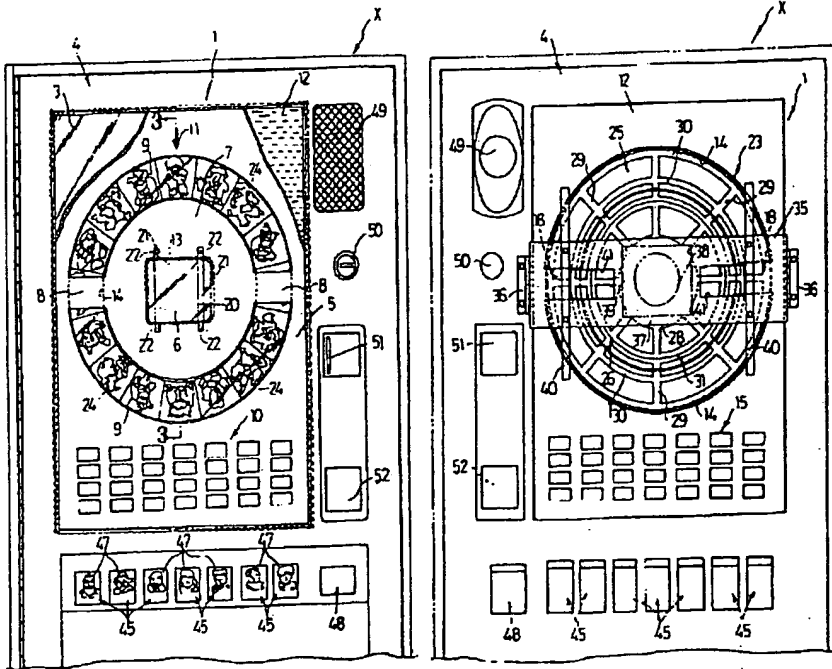
8

35...支持部材、
38...駆動モータ、

39...取り付け枠部、
45...賭けボタン、

【図1】

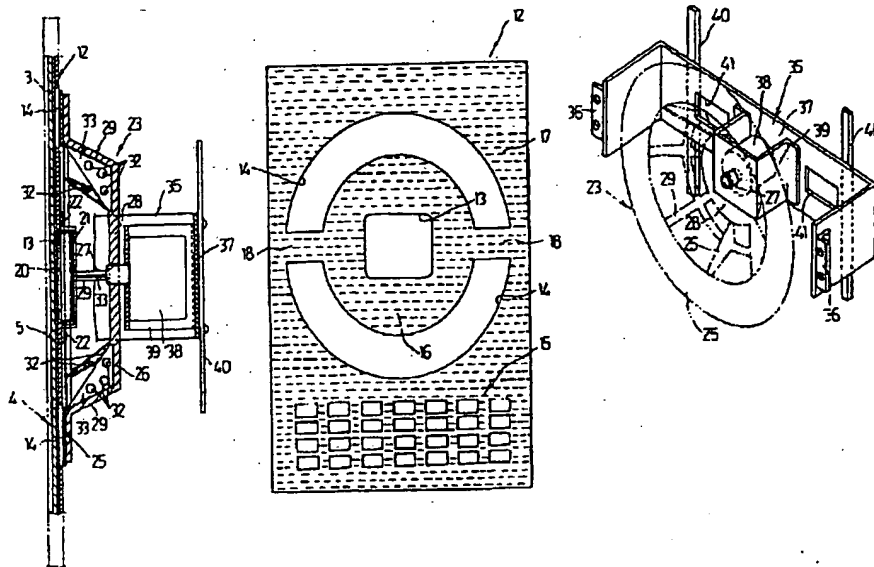
【図2】



【図3】

【図4】

【図5】



(6)

特開平6-254208

【図6】

